

発熱外来棟での診療を開始しました。

10月30日(金)、これまで感染対策バスで対応していた、新型コロナ感染症等の対策方法として発熱外来棟(プレハブ)が完成しました。冬場のインフルエンザ流行前に設置を行うべく、10月末の完成を目指し工事を行ってきました。

室内には検体採取ボックスや陰圧パーテーション等の感染症対策を行い、冷暖房の設置及び給排水工事も行うことでトイレを完備しており、患者様にこれまでより良い環境を提供できるようになりました。



発熱外来棟（全景）



診察室



患者待合室



検体採取ボックス



陰圧パーテーション



洗面台



水洗トイレ



スロープ